

学生実習「海洋観測法」

日時：平成29年8月30日～9月1日

担当教員：岩井雅夫 教授、氏家由利香 准教授

(学生数：20名、教員：2名、技術補佐：1名)

場所：高知大学総合研究センター海洋生物研究
教育施設（高知県土佐市宇佐町）



<内容>

理学部2～3年生を対象とした学生実習「海洋観測法」を、当研究センターの教員が担当して行いました。

1～2日目の午前中は海洋調査実習船「豊旗丸」に乗船し、浦ノ内湾を中心に水質調査や海水・プランクトンネット・海底堆積物の採取を行いました。水質調査もモニターや記録担当だけでなく、機器の海中投入も学生が分担して体験しました。午後は実習で得られた試料を用いた観察・実験を行いました。参加学生は夜まで一生懸命実験等に打ち込みました。

最終日にグループ毎に結果の発表や討論をしました。大変暑い中での実習でしたが、学生自ら調査・実験等を行い、初めての成果を発表する良い機会をもってもらえたと思います。



教員と学生が力を合わせて、
採泥器を海に投入する様子



採取した海底堆積物に触れて観察